

## 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020 年 3 月 30 日作成 第 1 版

研究課題名	腎癌に対する腎部分切除術における難易度評価のための新規スコアリングの有用性の検討
研究の対象	2002 年 7 月から 2021 年 3 月までに横浜市立大学附属病院で腎癌疑いに対して腎部分切除術を施行した患者さん
研究目的 ・方法	限局性腎癌に対して、手術は標準治療です。特に 4 cm 以下の腎癌では、正常腎を温存できる腎部分切除術が癌のコントロールでも腎摘除術と遜色ないとされています。しかし、腎部分切除術は手術の難易度が高く、症例の選択が重要です。これまで、腎部分切除の難易度の評価に R. E. N. A. L スコアというスコアリングが用いられてきました。しかし、近年、ロボット支援型腎部分切除が保険適応となり、腎部分切除術の適応が広がりつつあります。特に腫瘍が腎臓にほとんど埋まっている埋没型腎癌への適応が広がったことで、R. E. N. A. L スコアでは難易度の評価が不十分となってきています。今回、R. E. N. A. L スコアに追加して、腫瘍の腎埋没部の評価として腫瘍の凹凸をスコアリングすることで、腎部分切除術の難易度の評価をより正確にできるようになることが期待されます。治療方法や術式には影響はありません。方法は、対象患者さんに対して実施された日常診療や手術所見を集積し、新規スコアリングと既存のスコアリングを比較し、手術成績を比較します。
研究期間	西暦 2020 年 6 月 29 日 ~ 西暦 2024 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	上記期間に当該手術を受けられた患者さんを対象とし、下記の日常診療で実施された項目を本研究に使用します。 患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、既往歴）、血液検査、手術内容、病理学的所見、分腎機能、合併症、予後など。 研究対象者の氏名等特定の個人を識別することができる情報を使用しない等、研究対象者の個人情報の保護について十分に配慮されます。

## 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 泌尿器科 （研究責任者） 蓼沼 知之

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-786-5775